



めぐみ教会学校だより



Vol.20

ラグビーW杯が大変もりあがっていますね。選手たちの活躍に興奮させられ、応援にも期待と力が入ります。そしてノーサイドの精神で、試合後は、勝敗関係なく相手を讃えるその姿には感動を覚えます。

聖書には、『愛』に関する記述がたくさんありますが、中でも一番有名なのは、第一コリント人への手紙13章です。『愛は寛容であり、親切です。…』とあり、そこから愛とはどういうものか、という説明が続きます。妬まず、自慢せず、思い上がりせず、自分の利益を求めず……。 (うっ、胸が痛い、) そして、『無礼なふるまいをしません。』ともあります。言い換えるなら、『礼儀正しい』ということでしょう。日本人は、礼儀正しいという国民性で、世界から賞賛を受けています。その礼儀正しさは、文化や習慣やしつけによって培われたものもありますが、その根っこには『相手を思いやる気持ち』があることを今一度、思い出してみる必要があるかもしれませんね。

無礼な扱いを受けたら、同じようにしたくなります。礼儀よく扱われたら、同じように返したくなります。

ラグビーW杯で外国人選手が礼を尽くす姿が報じられていました。おそらく、日本人選手から受けたこと、日本人から受けたことを同じように返してくれたのでしょう。

自分がそれをされたらどんな気持ちになるかを想像して、相手に接したいものです。

『人からしてほしいと思うことを、そのとおり、人にもしてあげなさい。』 (マタイによる福音書7章12節)

<お知らせ>

11月10日(日) 子ども祝福式(礼拝の中で)

12月15日(日) クリスマス会(午後)

<ゴスペルサークルのご案内>

・10/9(水) 19:30 / 参加費・大人1000円・子ども500円です。
ご興味のある方はご連絡ください。

